

神戸大学学報

No. 404

1990.5 庶務部庶務課発行



《平成2年度入学式（兵庫県立文化体育館）》

目

次

平成2年度入学式式辞	2
平成2年度入学式式辞—医療技術短期大学部—	5
◇学内ニュース	7
・新役職員紹介	
・神戸大学名誉教授称号授与式の開催	
・平成2年春の生存者叙勲	
・平成2年度公開講座実施計画の案内	
・タイ国学術研究会議代表団一行の来学	
◇法令	10
・省令 ・告示	
◇学内規則	10
◇人事	14
・異動 ・研修等 ・海外渡航	

◇学事	19
・平成2年度科学研究費補助金の交付内定	
・平成2年度科学研究費補助金（国際学術研究）の交付内定	
◇掲示板	31
・職員の住所変更等	
◇日誌	31
◇訂正	32
◇神戸大学50年史編集室だより	33

平成2年度入学式式辞

学 長 新 野 幸次郎



難かしい入学試験にめでたく合格され、このたび神戸大学に入学された2,568名の諸君、また、教育学部の養護教諭特別科に入学された40名の諸君、おめでとうございます。

私は、本日の入学式に当たりこの壇上に列席して頂いている部局長の皆さんとともに、まず最初に皆さんの今日までのご努力に対して敬意を表するとともに心からお祝いを申し上げます。しかし、よく言われることではありますが、今日の諸君の栄誉は、ひとり諸君だけの力によって獲得されたものではなくて、諸君を慈んでこられたご父兄及び諸先生のお陰でもあります。報恩感謝の心というのは人間の最も美しい心の一つであると言われますが、私はこの機会に諸君が、今日の日の諸君を導いてこられたすべての人々に対してこの美しい心を捧げることを忘れることなく、これから生きてゆかれることを何よりも第一に期待したいと思います。私はつい最近ある友人から、数年前に不幸にも若くして急逝した共通の友人の息子さんが、今年めでたく本学に入学されたことを知らされ大変うれしく思いました。残されたお母さんのお喜びのお顔が目の前に浮んできます。このご家族だけでなく、きっと皆さんの中には、これに似たご不幸をのりこえて感激を覚えて入学された方もいらっしゃると思います。合格を知ったときの気持ちを大切にしてください。

大学は言うまでもなく一部の評論家が皮肉っているように、レジャーランドではありません。諸君は小学校入学以来、只管希望の大学を目指して懸命に勉強を続けてきたことと思います。ひょっとすれば、その受験勉強から解放されて、いま、いよいよ自由な時間をふんだんにもてると思って

いるかもしれません。たしかに、大学では、高等学校までのように毎日朝から必修科目が並んでいる訳ではありません。どの科目をとるか、あるいは、とるべきかは一応示されてはいるが、その選択は諸君自身にまかされています。その意味では自由です。しかし、その自由をどう使うかで諸君の大学生活には、従ってまた諸君の今後の人生には決定的な差が生まれます。

その意味では、大学に入った諸君が最初に直面する難問は、如何にして自分を確立し、自分を律するかということです。そのためには、街頭で呼びとめられて安物やまがい物をつい買わされてしまうのと同じような自分を見失った行動をしないようにすることをまず第一に留意して下さい。そして自分自身と対決する努力をしながら、自分の確立に努めて下さい。

大学はレジャーランドどころか、夫々の社会の中で最も大切な科学的認識を学び、それを発展させる場となる場所でもあります。言うまでもないことです。自然と社会の営みについての正確で、深い認識なしには、私たち人類は豊かで発展性のある生活を営むことはできません。よく私たちは科学技術と一口に言っていますが、す

べての技術は、こうした科学的認識によってのみ成立して行くものです。その基礎になるものは、何といっても科学的認識なのであります。大学は一般に思われているような単なる職業教育や訓練を即自的な目的にしているではありません。大学は何よりも、科学的認識の習得とその深化を通じて、人間形成を図ろうとしている組織であります。

ところが周知のように、人類がこれまでに積み上げてきた科学的認識は実に歴大であり、夫々の専門領域でそれを自分のものとして体化して行くためには、基礎的な学力の形成を手はじめに真剣な努力を必要とします。しかし、特定の専門分野で勉学を進めて行くうえで、どのような基礎的な学力や自然や社会や人間についての基本的な理解を必要とするかは、今の皆さんには必ずしも体系的に理解できないと思います。そのためにも、第二に、これから諸君が念頭においてほしいことは、明日以降のガイダンスを正に理解して勉学に努めてほしいということです。

とくに、その必要性は学部によってはこれから二年間、また、学部によっては一年半に亘る教養部での勉強について大きいと言えます。ひょっとすると皆さんは教養部での若干の科目は高校で勉強した内容と余り差はないとお考えかもしれませんが、しかし、知識を教えることを中心とする高校での授業と、そうした知識の成立条件や論理的なみちすじを考えようとする大学での授業とは根本的に異なっています。

そもそも、大学の一般教育は戦後の新制大学にとり入れられたものですが、それは基本的に二つの目的をもっています。一つは、何よりもこれから人と人との関係の中で生きてゆこうとしている皆さんに社会の中で生きるために必要な人間としての条件、とくに、他人や他国民に対する思いやりや、何よりも人格完成のための色々な視野を与えることです。

もう一つは、色々な学問を理解し、それを発展させるために必要な基礎的な学力をつけることです。今日の学問は夫々相互に密接な関係をもっていることが自覚されるようになっており、それを理解し発展させるためには、そうした諸科学の基礎となる学力を確実に自分のものとしておかねばなりません。神戸大学ではこの数年、一般教育と専門教育との関係、一般教育や専門教育そのもののカリキュラムのあり方やその講義内容等について検討を重ねつつあります。私は新しく入学された皆さん方がこれから行われるガイダンスに従って勉学されるよう祈ります。

ところで、何かをしたい、しなければならないという意欲をもった青年のともすれば落ち入り易い欠陥の一つは、ともすれば、複雑な諸条件をもった現象を、極めて単純で、ごく少数の原因ないし要素に還元してしまい、それで割り切ってしまう勝ちであることであります。これは行動をしようとするときには、極めて便利なことであり、青年の長所の一つでもあります。しかし、すべての現象は、実は複雑な相互連関の中で動いており、単純な因果論的説明を不可能にしています。それを無視して1、2の因果論的説明だけで満足して、他の要因を捨ててしまうと、実は大変な誤りを犯すことになります。しかも、この事態は大学生になったばかりでは容易には把握できない場合が多いのです。それを補って頂けるのが、先生方であり、研究を進めている大学院生や先輩の皆さんであります。私はこの2、3年とくに、ひとり教養部の先生方だけではなく、専門学部の先生方に、学生諸君との接触の機会をできる限り多くして頂くようお願いしてきています。諸君の学校の先輩、あるいは、課外活動部の先輩を通じてできるだけ早くこうしたことを教えて頂ける先生方を探し、訪ね、より深い勉学のきっかけを見出して下さい。ここでいう、友人とは言うまでもなく、同級生ばかりとは限りません。先輩や後輩の場合もありま

す。親友をもてるかどうかは、その人がこれから人生を豊かに生きられるかどうかを決める要因でもあります。人間は自分で自分の姿を見ることができないとよく申します。自分の姿を見るためには、鏡に映してみるか、または、他人に映っている自分を見るしかありません。諸君自身を理解し、諸君を正しく映して見てくれて、率直に忠告してくれる友がいるかないかは決定的に大切なことです。そういう友人をもつことができる一つの条件は、お互いに一切の見えを捨てて、生のままの自分をさらけ出して同じ苦しみに耐え、同じ喜びを喜びあう生活をするの中から生れるものです。その一番てっとり早い方法は運動部や応援団やその他いくつかの文化部のような生活をしてみることです。もっとも近頃は、こうした生き方を共にしようというよびかけの中には世間で問題になっているものもないことはありません。色々なよびかけに対しては真剣な検討が必要です。友人をもつことの重要性和関連して私がとくに強調しておきたいことがあります。それは「自分を抑えて、先ず相手に合せようとする行為」のことであります。それは一部では礼儀ともいわれ、ある意味の思いやりとも言われますが、それは親しい友をもつことが可能な第一の条件であり、もう一つの条件は、その友に役立つことを何の報酬も期待することなく行なうことであります。友情が人と人との統合の中で最も純粋なものであると言われる所以であります。ところが、この礼儀とか、思いやりとか、友情とかいうものは、学問を学ぶことからだけでは学びとることができないものであり、それは人と人との交わりの中からのみえられるものであります。大学時代というのは有難いことに何の利害関係にまみれない人と人との交わりをとり結ぶことができます。受験勉強にあげくれた高校までの生活では無理であったこうした人間性の形成を、諸君はこの4年間の課題の一つとして自覚して取り組んで下さるよう祈りたいと思

ます。

最後に、この3月、私が神戸大学医療技術短期大学部の卒業式の式辞の中で申し上げ、また、諸君が今日、受けとられることになる『学生生活案内』の中でもふれておいた言葉をとりあげて、この式辞を結びたいと思います。それは、東井義雄さんという方が書かれた本『村を育てる学力』の中にある言葉、すなわち、「下農は雑草を作り、中農は作物を作るが、上農は土を作る」という言葉であります。私たちは勿論、諸君にただ雑草を作るしかない教育をしようとは思っていません。入学が困難なことではわが国でも屈指の大学であるわが神戸大学に諸君を迎えたのでありますから、夫々の学部で立派な作物を作る意欲と努力を重ねて頂けるものと私は確信しております。しかし、美しい花を作ろうと思ったら土作りに精を出さねばならないと申します。皆さんがどんな花を作ろうと思うか、また作れるかは、これから皆さんが、これからの大学生活でどんな土作りにとりかかるかによります。しかも、諸君にとっての真の作物作り、花作りは、この4年間や6年間で終るものではありません。最近では人生80年の時代と言われます。もし、諸君が60才頃までに諸君の理想とする花や作物を作ろうと覚悟するなら、これから数10年は何よりも花そのものより土作りの方に専念しなければなりません。大学はまさに、その土作りの第一歩なのです。

私は、東井さんの言葉を紹介して式辞を結びたいと思います。

(平成2年4月10日 於 兵庫県立文化体育館)

平成2年度 入学式式辞

——医療技術短期大学部——

学 長 新 野 幸次郎

この美しい春の日に新しく165名(内訳は看護学科80名)、衛生技術学科40名、理学療法学科23名、作業療法学科22名)のみなさんをお迎えして、しかも神戸大学ほとんど総ての部局長の御臨席をいただいて入学式を挙行できますことは大変うれしいことであります。まず最初に皆さん方が永年の努力の成果を实らせられ、本日の入学式に臨まれることが出来ましたことに心からお祝いを申し上げます。

本日のこの栄誉は、ひとえに皆さん方のご努力によるものですが、しかし、それと同時に御父兄の皆さん方、さらには今日迄みなさんをご指導なされた幼稚園以来の諸先生方のお陰であるということに思いを馳せていただきたいと思います。

私は、まず最初に皆さん方が本学に入学をされようと思われたことに対して心から敬意を表したいと思います。と申しますのは、皆さんが卒業後おつきになる仕事というのは、今日の社会にとってもっとも重要な仕事の一つでございます。かって我が国に限らず他の国々も貧しい時代がありました。その時には、経済的貧困をいかにして克服するかということが最大の国民的課題でありました。皆さんも学校の教科書等で勉強されたことと思いますが、我が国でも1930年代迄といえますのは、大変苦しい生活をしなければいけない家庭が数多くありました。

特に農村で自分の娘を売りにださなければならぬといったことや、また、10歳代あるいはそれ以下の男子を奉公にださなければならぬようなこともありました。そのような時代から考えますと、いまや我々の周辺から又、他の国々でも一部をのぞき、このような事態はなくなりました。

そのかわり、次のようなことが最大の課題になってまいりました。それは、心と身体についての



健康保全維持の問題です。ご承知のように医学の発達あるいは医療技術の発達に伴い、必ずしも健全とはいえない肉体をもった人たちが正常な人々といっしょに生活していけるようになりました。それと同時に、高齢化社会になってまいりまして、相当な年齢の方々が健康上の問題をかかえながら生きのこっていかなければならない事態が多くなってまいりました。さらに又今日の非常に発達した社会の中で、心身というよりも精神的な苦痛に耐えかねて、その為に健康を崩してゆく人々が多くなりました。このような人々に対して本当の意味で心の安らぎを与え、治療のための手助けをし、そして、健全な状態への回復への過程をご援助出来るような技術をもった人々、又、そういう心をもった人々をいかにして沢山もつかがということが非常に重要な課題になってきております。

皆さんは、そういう方々に援助をさしのべることができる、そういう仕事をこれから3年間の勉強を通して身に付けてようと意図された訳でございます。その意味で、まず皆さん方に心から敬意を表したいと思ったわけでありました。ただこれからの3年間の勉強の過程で若干心配がないわけではありません。それは期待の大きい仕事であると同時に国家試験というものがあり、必ずしも3年間は楽な過程ではないということです。普通の

文科系の学生のように比較的自由に選択科目を持ちゆとりのある時間がおくれるのとは異なり、授業時間もかなりつまった毎日をおくらなければならず、自分の時間をエンジョイするというのが困難な面があると思います。皆さんが本当に豊かな人間になっていただく為には自由に自分をみつめて、友人を見出し、生涯の師と仰ぐことができる人たちと巡りあわせていくことがなによりも大事なことになると思います。ところが、残念ながら勉強時間が詰まっており、その様な時間がかならずしも自由に得られるという訳にはいかないのではないかとこのことを心配せざるをえません。その意味では、出来るだけ早く、先生方という色々な形で話しあえる機会を、みずから進んで作っていただくようお願いしたいと思っております。それから友人にいろいろ話合いをしてみる、そして、自分にはないものを友人から見出して新しい考え方、生き方を身につける様に努力なさることを是非お願いしたいと思います。

その補助手段として、3年間の間に出来るだけ多くの愛読書を手にしていただきたいと思います。シカゴ大学の学長でハッチンズという先生が「偉大な会話」という本を書いておられます。先生はその中で出来れば人生の何十年かの間に、少なくともギリシャ、ローマの時代以来人類が育て、今まで持つことができた非常に優れた本を直接自分で読んで、そしてその人々と本の中で会話をしてみる、ということが人間にとって必要ではないかということを強調されておられます。内容的には、100冊の本が上げられている訳ですが、ホメロスから始まってプラトンとかその他いろんなものを100冊読むというのは大変なことです。しかし、皆さんに是非ともお願いしておきたいのは、これから1冊でも2冊でもいいから、この本を読んだおかげで自分は大変プラスになった、人生を生きううえで大変な刺激を受けた、と思われるような本を探し出していただき、死ぬまでその本の時

々読み返しては考えてみる、そして、その人と本の中で会話してみようということを出来るようにしてもらえればよいのではないかと思います。その為にも、出来るだけ多くの友人、又、先生方との会話を作っていただきたいと思います。私はつい先日、一つの研究書を読んでみました。私は直接その人の本を読んだ訳ではありませんので引用するのが恥ずかしい気がいたしますが、それはナイチンゲールについてのことであります。その研究書によりますと、皆さんご存じの看護のことについて、ナイチンゲールが覚書を書いている様です。その内容は看護の問題だけではなくて、家庭をどのように管理していけばよいのか、そして住居はどのような環境でなくてはいいか、又、家の中に四季の変化とか一日の時間の動きによる風の変化、そういうことをどういう風に受け止めるような形にしておかなければならないか、食事はどのようなものでなくてはならないかなどこまごまと書かれているようです。普通ナイチンゲールというと、看護の神様といわれた方ですから、看護の事だけ書いている様に思いがちですが、実は、本当に健康を維持してゆくには、どういうことに配慮しなくてはならないか、ということがこまごまと書いてある様です。それは皆さんがこれからco-medical、つまり医師といっしょに患者の方々、すなわち、心や身体に病気を持っている人に介護の手を差し延べる時、単に患者に対する看護の仕事だけではなくて、実はナイチンゲールがその覚え書きの中でいおうとしている。人間の健康維持のためにはどれだけのことに配慮しなければならないか、といった目をもつことが要求されている様に思うわけでありまして。したがって、これからの3年間の勉強ではとてもそういう課題には答えられない訳ですが、本当にco-medicalな仕事をやっていこうと思ったら、もっと広い、人間の幸せ、又、人間の健康維持に関するすべての問題について皆さんが目を開ける様な、そういう視野を獲得していない

と本当のco-medicalな仕事は出来ないように思う訳です。なかでもその引用してありましたナイチンゲールの言葉でしみじみ考えさせられましたのは、患者の顔つきを見て患者のどこが悪いか、なにをなやんでいるのかを、患者から聴かなくても、わかる様な看護従事者にならなくてはならない。そして絶えず患者と同じ座標に立ち、物を考えられる人間にならなくてはならないと書いてあるくだりです。私はこれから皆さんが何年か経たのち、あるいは、ある職業を持たれてその職業を退職されることになって、この大学で勉強してよかったと思われるOxford dictionaryをみてみますと、laborとworkという言葉の区別がしてあります。workというのは、そのことをすること事態に喜びがある働きのことであり、laborというのはそれ自身をすることにはなんの喜びもなくむしろ苦しみすらあるが、それによって得られる報酬等のようなものによって得られる喜びがある働きの事です。

あるドイツの学者がドイツ語でberufと書いてありますが、英語ではcalling、つまり天職と書いていいような、それ自身にやりがいのある、又、それによって人に喜びを与える職業として感謝される仕事をそれぞれお選びになった訳であります。そういう意味ではこれからの3年間、少々辛くてもそういうことのために勉強しているのだと考えていただき、laborではなくてworkだとお考えいただけるのではないかと思います。幸い本学には、教育及び研究に優れた先生方が多くいらっしゃいます。皆さんの期待に充分応えていただけるものと確信をしております。

どうか身体に気をつけられ、3年間で1つの第一歩として頑張ってください、それからあとの職業生活を見事に生き抜いてくださるようお祈りをして、入学式の挨拶にかえさせていただきたいと思っております。

(平成2年4月9日 於 医療技術短期大学部体育館)

学内ニュース

◇新役職員紹介

※附属教育研究施設等の長

(4月8日 発令)

施 設	部 局	官職	氏 名	併 任 期 間
遺 伝 子 実 験 施 設 長	理学部	教授	世 良 明	2. 4. 8
				4. 4. 7

(5月1日 発令)

施 設	部 局	官職	氏 名	併 任 期 間
農 学 部 附 属 農 場 長	農学部	教授	西 川 欣 一	2. 5. 1
				4. 4. 30

◇神戸大学名誉教授称号授与式の開催

4月19日(木)午後4時30分から大会議室において神戸大学名誉教授称号授与式を開催し、次の方々に称号を授与しました。

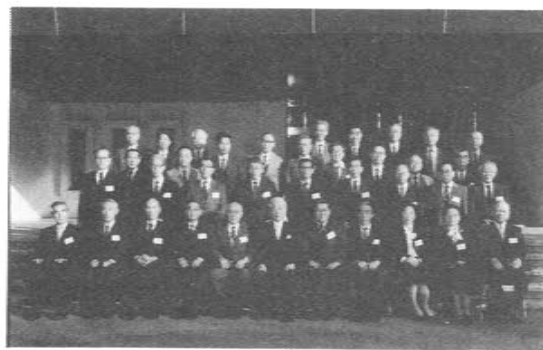
授与式終了後、ランスボックスで新名誉教授と評議員との懇親会を開催しました。

4月1日付

(前所属官職)

文 学 部	教 授	三 木 正 之
教育学部	教 授	根 来 司
教育学部	教 授	稲 垣 和 子
教育学部	教 授	杉 山 明 男
教育学部	教 授	齋 藤 浩 志
法 学 部	教 授	西 賢
経済学部	教 授	置 塩 信 雄
経済学部	教 授	斎 藤 光 雄
理 学 部	教 授	関 戸 榮 一
医 学 部	教 授	溝 井 泰 彦
医 学 部	教 授	福 崎 恒
工 学 部	教 授	麦 林 布 道
工 学 部	教 授	進 藤 明 夫

工学部	教授	松本隆一
農学部	教授	水野進
農学部	教授	山本修
農学部	教授	小野一
農学部	教授	西村功
農学部	教授	荻田淳
教養部	教授	桂圭男
教養部	教授	野口寛
教養部	教授	松田實矩
教養部	教授	大河内了義
教養部	教授	都築嘉弘
教養部	教授	坪由宏
教養部	教授	和久田賢夫
経済経営 研究所	教授	能勢信子



—庶務課—

◇平成2年春の生存者叙勲

このたびの、本学関係の受章者は次のとおりです。

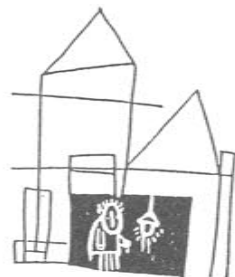
(4月29日 受章)



勲三等旭日中綬章
金久正弘
(神戸大学名誉教授)



勲三等旭日中綬章
武田 創
(神戸大学名誉教授)



◇平成2年度公開講座実施計画の案内

例年、本学では、全学計画としての公開講座や、各部局の特性を生かした独自の講座、スポーツ教室を開講しています。

今年度からは、新たに教育学部の講座が加わり、更に、農学部では従来の講座とは別に豊岡地区における宮農技術大学講座を実施することとしており、全学で合計13講座となります。

ここに、それぞれの講座の概要をお知らせします。

学部名	講座名	開設時期	時間数	講習料	対 象	募集人数	開設場所	連絡先
全 学	'90年代の世界と日本	自 9月8日(土) 至 11月10日(土) 毎週 土	24	5,760 円	市民一般、学生	300	神戸大学 農学部C101教室	庶務課企画広報掛 ☎ 078(881)1212 内線 2018~2019
教育学部	自然と人間の生活—神戸大学教育学部(農場実習観察園)公開講座—	自 7月21日(土) 至 8月11日(土) 毎週 土	12	4,120	市民一般	60	神戸大学 教育学部	教育学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 7012~7013
経済学部	'90年代世界と日本経済の課題	自 6月9日(土) 至 6月30日(土) 毎週 土	12	4,120	市民一般	250	神戸大学 経済学部講義室	経済学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 3212~3213
理学部	生物の進化と系統・地球を探る	自 7月31日(火) 至 8月3日(金) 毎日	24	5,760	高等学校理科担当教員(小、中教員可)市民一般(大卒程度の知識を有する者)	50	神戸大学 理学部会議室	理学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 4312~4313
医学部	内分泌と健康	自 10月13日(土) 至 11月17日(土) 毎週 土	15	4,120	市民一般 学生(18歳以上)	130	神戸大学 医学部第2講堂	医学部庶務掛 ☎ 078(341)7451 内線 3020~3021
工学部	未来を開くハイテクノロジー—より豊かな人間生活をめざして—	自 8月25日(土) 至 10月6日(土) 毎週 土	20	4,940	市民一般	100	神戸大学 工学部講義室	工学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 5012~5013
農学部	食料資源と環境の科学	自 7月9日(月) 至 7月13日(金) 毎日	15	4,120	市民一般	150	神戸大学 農学部C101教室	農学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 4612~4613
"	豊岡地区宮農技術大学講座	自 8月6日(月) 至 8月7日(火) 毎日	12	4,120	豊岡地区 農業関係者	150	兵庫県但馬地場産 センター	農学部庶務掛 ☎ 078(881)1212 内線 4612~4613
医療技術短期 大学部	家庭内での医療—運動とスポーツ—	自 6月9日(土) 至 7月7日(土) 毎週 土	15	4,120	市民一般、学生	70	神戸大学医療技術 短期大学部カンファ レンスルーム	医療技術短期大学 部庶務掛 ☎ 078(792)2555 内線 203,220
教養部	スポーツ教室 (少年サッカー)	自 7月11日(水) 至 7月19日(木) 毎日(7/15を除く)	20	4,940	中学一年生 男子	30	神戸大学 教養部グラウンド	教養部学生掛 ☎ 078(881)1212 内線 6020~6021
"	スポーツ教室 (硬式テニス)	自 9月1日(土) 至 10月20日(土) 毎週 土	20	4,940	市民一般	40	神戸大学 教養部テニスコ ート	教養部学生掛 ☎ 078(881)1212 内線 6020~6021
"	スポーツ教室 (バスケットボール)	自 8月7日(火) 至 8月13日(月) 毎日	20	4,940	中学生男女	30	神戸大学 教養部体育館	教養部学生掛 ☎ 078(881)1212 内線 6020~6021
"	スポーツ教室 (中高年者健康 運動教室)	自 7月30日(月) 至 8月31日(金) 毎週 月、水、金	30	6,590	40歳以上の市 民一般	30	神戸大学 教養部体育館・グ ラウンド	教養部学生掛 ☎ 078(881)1212 内線 6020~6021
計(13講座)			239			1,390		

—庶務課—

◇タイ国学術研究会議代表団一行の来学

4月13日(金)午前11時、タイ国学術研究会議のDr. Charoen Vashrangsi 事務局長他2名の代表団一行が新野学長を表敬訪問し、懇談されました。

本学からは、徳久医学研究国際交流センター教授が同席しました。

同代表団一行は、本学の医学研究国際交流センター関係教官との意見交換及び附属病院施設等の視察を目的とし、日本学術振興会の招きで来日されたものです。

懇談では、特に日本学術振興会の事業による拠点大学方式の交流について、意見交換が行われました。



—国際主幹—

法 令

◇省令

大蔵省令第19号 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令
(平成2年4月13日付官報)

◇告示

文部省告示第42号 養護教諭養成機関として指定した件

(平成2年4月12日付官報)

文部省告示第49号 大学の設置等の認可申請に係る書類の様式及び提出部数の一部を改正する件

(平成2年4月23日付官報)

学 内 規 則

◇神戸大学学則の一部を改正する学則

(平成2年4月19日制定)

改正要点

1. 経営学部第二課程において新たに編入学措置を講じたこと。
2. 学部及び大学院の学生定員を改めたこと。

神戸大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成2年4月19日

神戸大学長 新 野 幸次郎

神戸大学学則の一部を改正する学則

神戸大学学則(昭和33年5月15日制定)の一部を次のように改正する。

第10条中第4項を第5項とし、第3項の次に次の1項を加える。

4 第1項に規定する者のほか、外国の大学において同項第1号と同程度の課程を修了した者で経営学部第二課程の専門教育課程に編入学を志望する者があるときは、教授会の議を経て、入学を許可することができる。

別表学生定員一学部の表を次のように改める。

別表 学生定員

1 学部

区 分		入 学 定 員		総 定 員	
		学 科 課 程 別	計	学 科 課 程 別	計
文 学 部	哲学科	36		144	
	史学科	36	120	144	480
	文学科	48		192	
教育学部	小学校教員養成課程	270		1,080	
	中学校教員養成課程	100	420	400	1,680
	養護学校教員養成課程	20		80	
	幼稚園教員養成課程	30		120	
法 学 部	法律学科	230	230	920	920
経済学部	経済学科	270	270	1,080	1,080
経営学部	経営学科	90		360	
	会計学科	90	270	360	1,080
	商学科	90		360	
理 学 部	数学科	30		120	
	物理学科	40		160	
	化学科	30	155	120	585
	生物学科	20		80	
	地球科学科	35		140	
医 学 部	医学科	100	100	680	680
工 学 部	建築学科	60		240	
	電気工学科	50		200	
	機械工学科	70		280	
	土木工学科	70		280	
	工業化学科	50		200	
	計測工学科	60	610	210	2,410
	化学工学科	50		200	
	生産機械工学科	50		200	
	電子工学科	50		200	
	システム工学科	50		200	
	環境計画学科	50		200	
農 学 部	園芸農学科	50		200	
	植物防疫学科	25		100	
	農業工学科	30	185	120	740
	農芸化学科	50		200	
	畜産学科	30		120	
小 計			2,360		9,655
法 学 部	法律学科	第二課程	60	60	
		三年次編入学定員	20	20	360
					360
経済学部	経済学科	第二課程	60	60	
		三年次編入学定員	20	20	360
					360
経営学部	経営学科	第二課程	30		150
	会計学科	第二課程	20	70	100
	商学科	第二課程	20		100
小 計			230		1,070
合 計			2,590		10,725

同表2 大学院の表中

自然科学研究科	物質科学専攻	10		30	
	生産科学専攻	10		30	
	資源生物科学専攻	7	46	21	128
	環境科学専攻	7		21	
	システム科学専攻	6		20	
	知能科学専攻	6		6	
合 計		378	151	134	62 756 302 392 248

を

自然科学研究科	物質科学専攻	10		30	
	生産科学専攻	10		30	
	資源生物科学専攻	7	46	21	133
	環境科学専攻	7		21	
	システム科学専攻	6		19	
	知能科学専攻	6		12	
合 計		378	151	134	62 756 302 397 248

に改める。

附 則

この学則は、平成2年4月19日から施行し、改正後の神戸大学学則の規定は、平成2年4月1日から適用する。

◇神戸大学文学部規則の一部を改正する規則

(平成2年4月17日制定)

改正要点

取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科を改めたこと。

神戸大学文学部規則の一部を改正する規則

神戸大学文学部規則(昭和29年4月19日制定)

の一部を次のように改正する。

別表第3を次のように改める。

別表第3

取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科

学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
哲学科	中学校教諭一種免許状	社会
史学科	中学校教諭一種免許状	社会
文学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語、英語

附 則

- この規則は、平成2年4月17日から施行し、改正後の神戸大学文学部規則の規定は、平成2年4月1日から適用する。
- 平成2年3月31日において現に在学する学生については、なお従前の例による。

◇神戸大学医学部附属病院諸料金規程の一部を改正する規程

(平成2年4月25日制定)

改正要点

診療等の料金を改めたこと。

神戸大学医学部附属病院諸料金規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成2年4月25日

神戸大学長 新 野 幸次郎

神戸大学医学部附属病院諸料金規程の一部を改正する規程

神戸大学医学部附属病院諸料金規程(昭和42年6月1日制定)の一部を次のように改正する。

第2条第1項第1号の(参考)中「12,164円」を「12,699円」に、「12,885」を「13,802円」に改め、同項第2号中「1,658円」を「1,627円」に改め、同項第3号中「2,523円」を「2,678円」に改め、同項第4号中「2,111円」を「2,163円」に改める。

附 則

この規程は、平成2年4月25日から施行し、改正後の神戸大学医学部附属病院諸料金規程の規定は、平成2年4月1日から適用する。

◇神戸大学学而荘使用規程の一部を改正する規程

(平成2年4月28日制定)

改正要点

- 使用許可に関する規定を整備したこと。
- 使用料の額を改めたこと。

神戸大学学而荘使用規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成2年4月28日

神戸大学長 新 野 幸次郎

神戸大学学而荘使用規程の一部を改正する規程

神戸大学学而荘使用規程(昭和60年5月23日制定)の一部を次のように改正する。

第6条中「神戸大学学而荘使用願(別記様式第一)」を「神戸大学学而荘使用願」に改める。

第7条を次のように改める。

(使用許可及び通知)

第7条 事務局長は、前条の使用願を適当と認めたときは、使用を許可するものとする。

2 前項の許可の通知は、神戸大学学而荘使用許可通知書により経理部主計課長が行うものとする。

3 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用願の内容を変更しようとするときに、直ちにその旨を事務局長に申し出て、承認を受けなければならない。

4 前項の承認に基づく使用者への通知は、第二項の規定を準用する。

第12条の次に次の1条を加える。

(書類の様式)

第13条 この規程の実施に必要な書類の様式は、経理部長が別に定める。

別表中

1人1泊につき	900円
2人の場合、1人1泊につき	450円

1人1泊につき	1,000円
2人の場合、1人1泊につき	500円

改める。

別記様式第1及び別記様式第2を削る。

附 則

この規程は、平成2年5月1日から施行する。

◇神戸大学経済学部規則の一部を改正する規則

(平成2年4月28日制定)

改正要点

取得できる教育職員免許状の免許教科を改めたこと。

神戸大学経済学部規則の一部を改正する規則

神戸大学経済学部規則(昭和46年2月3日制定)の一部を次のように改正する。

別表第5の免許教科の項中「社会・商業」を「商業」に改める。

附 則

- この規則は、平成2年4月28日から施行し、改正後の神戸大学経済学部規則の規定は、平成2年4月1日から適用する。
- 平成2年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

◇神戸大学経済学部第二課程規則の一部を改正する規則

(平成2年4月28日制定)

改正要点

取得できる教育職員免許状の免許教科を改めたこと。

神戸大学経済学部第二課程規則の一部を改正する規則

神戸大学経済学部第二課程規則(昭和46年4月1日制定)の一部を次のように改正する。

別表第3の免許教科の項中「社会・商業」を「商業」に改める。

附 則

- この規則は、平成2年4月28日から施行し、改正後の神戸大学経済学部第二課程規則の規定は、平成2年4月1日から適用する。
- 平成2年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。



人 事

◇異動

所属部局 官 職	氏 名	発令 月 日	異 動 内 容 (異動前の所属官職)
学 生 部 (学 生 課)			
事務補佐員	大 西 福 子	4. 3	採用
(入 試 課)	小 池 直 子	4.27	辞職(事務補佐員)
総合情報処理 セ ン タ ー			
事務補佐員	山 口 結 花	4.11	採用
遺 伝 子 実 験 施 設			
施 設 長	世 良 明	4. 8	併任(理学部教授)
保 健 管 理 セ ン タ ー			
事務補佐員	林 原 礼 子	4. 2	採用
附属図書館 (情 報 サービスク)			
事務補佐員	森 田 恵 子	4.16	採用
"	石 田 章	4.23	"
"	宇 野 雄 一	4.27	"
文 学 部			
事務補佐員	小 柴 純 子	4.11	採用
教育学部			
教務補佐員	安 井 範 子	4. 2	採用
(附 属 住吉小学校)	植 田 君 恵	4.18	育児休業(教諭)
(附 属 明 石 校)			
臨時用務員	延 賀 久 美	4.23	採用
経営学部			
	梅 本 真由美	4.30	辞職(助手)
理 学 部			
事務補佐員	竹 田 修 子	4. 2	採用

医 学 部			
助 手	谷 本 道 則	4. 9	採用
"	坂 井 讓	4.16	"
"	杉 本 利 嗣	5. 1	"
"	東 門 美 代	4.30	辞職(助手)
事務補佐員	文 慧 之	4.11	採用
医 学 部 附 属 病 院			
助 教 授	黒 田 嘉 和	4.16	昇任(講師)
助 手	堀 川 達 弥	"	採用
"	川井田 徳 之	"	"
"	松 尾 博 哉	"	"
"	中 野 圭一郎	"	"
"	三 川 勝 也	"	"
"	西 川 昌 志	"	"
"	佐 堀 彰 彦	"	"
"	原 田 俊 彦	5. 1	"
"	長 江 利 幸	"	"
"	橋 村 孝 久	4.30	辞職(助手)
脳神経外科 病棟医長	谷 本 道 則	4. 9	命(医学部助手)
助 手	増 村 道 雄	"	免(脳神経外科病 棟医長)
整形外科 外来医長	松 原 司	4.16	命(医学部助手)
助 手	清 水 富 男	"	免(整形外科外来 医長)
泌尿器科 医 局 長	荒 川 創 一	5. 1	命免(泌尿器科病 棟医長)
"	松 本 修	"	免(泌尿器科医局 長)
泌尿器科 病棟医長	小 川 隆 義	"	命(医学部助手)
(看護部)			
助 産 婦	爲 則 美智子	5. 1	配置換(看護婦)
"	藤 田 桂 子	"	" (")
看 護 婦	泉 原 志 穂	"	昇任(准看護婦)
"	小 倉 雅 代	"	" (")
"	鹿 兒 島 麻 紀	"	" (")
"	亀 井 由 美	"	" (")
"	田 村 郁 実	"	" (")
"	高 石 明 美	"	" (")

看 護 婦	深 井 和 美	5. 1	昇任(准看護婦)
"	藤 田 早 世	"	" (")
"	今 村 裕佳栗	"	" (")
"	井 口 有 美	"	配置換(看護助手)
"	伊 藤 美 保	"	" (")
"	伊 藤 美 幸	"	" (")
"	岡 田 紀 子	"	" (")
"	上 坂 聡 佳	"	" (")
"	酒 井 智 代	"	" (")
"	塩 川 ゆ り	"	" (")
"	田 仲 英 子	"	" (")
"	高 谷 直 美	"	" (")
"	力 石 美佐緒	"	" (")
"	辻 本 菜美子	"	" (")
"	戸 田 浩 子	"	" (")
"	中 野 由 里	"	" (")
"	西 山 あゆみ	"	" (")
"	野 崎 のりこ	"	" (")
"	東 深 雪	"	" (")
"	藤 川 裕 子	"	" (")
"	藤 田 綾 子	"	" (")
"	細 木 典 子	"	" (")
"	横 戸 敬 子	"	" (")
"	松 田 真 澄	"	" (")
"	松 田 美 紀	"	" (")
"	三 谷 展 子	"	" (")
"	三 輪 靖 子	"	" (")
"	宮 田 智 子	"	" (")
"	森 永 裕美子	"	" (")
"	守 屋 智 代	"	" (")
"	吉 次 育 子	"	" (")
"	吉 野 みどり	"	" (")
"	吉 見 早 苗	"	" (")
"	米 倉 恵 子	"	" (")
"	和 田 紀 子	"	" (")
"	鳥 川 雅 子	"	" (")
"	三戸森 美 貴	"	臨時的任用
"	田 村 圭 子	"	"

(事 務 部)			
(管 理 課)			
技能補佐員	横 山 純 雄	5. 1	採用
"	今 村 睦 雄	"	"
(医 事 課)			
	稲 元 益 夫	4.15	辞職(給食員)
工 学 部			
教 授	軽 部 大 蔵	5. 1	昇任(助教授)
事務補佐員	垣 脇 美奈子	4. 2	採用
農 学 部			
助 教 授	加 古 敏 之	5. 1	転任(愛媛大学農 学部助教授)
講 師	三 宅 正 史	"	昇任(京都大学農 学部助手)
(附属農場)			
農 場 長	西 川 欣 一	5. 1	併任(農学部教授)
農場主事	尾 崎 武	4.21	命(講師)
教 養 部			
講 師	松 家 理 恵	5. 1	採用
事務補佐員	山 本 由紀子	4.11	"
"	難 波 玲 子	"	"
"	樽 本 夕 美	"	"
"	三 宅 恵 子	"	"
"	佐 伯 幸 子	"	"
経 済 経 営 研 究 所			
教 授	小 西 康 生	5. 1	昇任(助教授)
大 学 院 自 然 科 学 科 研 究 科			
講 師	富 田 昌 宏	5. 1	転任(東京大学工 学部講師)
医 療 技 術 短 期 大 学 部			
	川 畑 摩紀枝	4.16	辞職(助手)

◇研修等

＊平成2年度近畿地区新採用職員研修（Ⅱ種）

期 間 平成2年4月3日～4月6日

会 場 NTT大阪内本町会館

主 催 人事院近畿事務局

参加者 庶務部庶務課文書法規掛

新 居 昌 明

経理部主計課管財掛

吉 本 光 人

施設部設備課機械掛

中 野 知 弘

医学部人事掛 福 井 麻 矢

医学部附属病院総務課庶務掛

赤 井 義 正

" 管理課経理掛

福 本 悟 郎

" " 用度第一掛

吉 野 明

＊平成2年度近畿地区新採用職員研修（Ⅲ種）

期 間 平成2年4月10日～4月13日

会 場 法円坂会館

主 催 人事院近畿事務局

参加者 経理部経理課共済組合掛

岡 村 宏

施設部設備課機械掛

大久保 恵 司

工学部システム工学科

大 西 和 夫

教養部教務掛 神 田 愛 佐

医学部附属病院医事課外来掛

田 中 省 吾

" 医療情報処理掛

今 井 淳

＊第16回近畿地区秘書業務研修

期 間 平成2年4月24日～4月27日

会 場 大阪合同庁舎第2号館

主 催 人事院近畿事務局

参加者 庶務部庶務課文書法規掛

齋 藤 初 美



◇海外渡航

所 属	職 名	氏 名	渡 航 先	渡 航 目 的	渡航期間	備 考
文 学 部	教 授	寛 壽雄	ギリシア	第9回応用言語学会世界会議に出席及び言語学に関する資料収集のため	2. 4. 14 2. 4. 30	出 張
"	"	齋藤 光格	カナダ アメリカ合衆国	アメリカ地理学会年次大会に出席及び地域研究の現状視察のため	2. 4. 18 2. 5. 3	研 修
教育学部	"	岩田 敦	アメリカ合衆国	アメリカにおけるウェルネス研究の資料収集及びプログラム調査のため	2. 4. 15 2. 4. 21	"
法 学 部	助 手	アレキサンダー, ロニーバレット	"	国際学会出席及び国際関係論に関する資料収集のため	2. 4. 4 2. 4. 15	"
"	教 授	神崎 克郎	台 湾	証券取引規制に関するシンポジウム出席並びに証券取引規制に関する研究交換のため	2. 4. 27 2. 5. 1	"
経営学部	"	石井 淳蔵	イタリア フランス	中小小売商店及び商業施設の調査並びにマーケティングに関する資料収集	2. 4. 1 2. 4. 8	"
"	"	本多 佑三	アメリカ合衆国	金融及び計量経済学に関する研究	2. 4. 3 2. 6. 2	出 張
"	助教授	金井 壽宏	"	企業の社会貢献活動の調査及び経営管理学に関する資料収集	2. 4. 25 2. 5. 4	研 修
理 学 部	教 授	本河 光博	連合王国 アイルランド	第5回ミュオンスピン緩和国際会議出席及び強磁場物理に関する研究交換	2. 4. 1 2. 4. 14	"
"	助 手	松田 吉弘	アメリカ合衆国	第4回国際クラミドモナス会議出席及び細胞生物学に関する研究交換のため	2. 4. 7 2. 4. 18	"
"	教 授	榎本 幸人	イタリア	地中海産藻類の分類学的研究のため	2. 4. 16 2. 4. 25	"
"	助 手	前川 寛和	アメリカ合衆国 カナダ	プレート境界におけるメランジュの発生機構の研究及び野外調査	2. 4. 16 2. 9. 21	"
"	助教授	高安 秀樹	アメリカ合衆国	触媒反応の統計物理学的性質に関する研究のため	2. 4. 17 2. 8. 3	"
"	助 手	大内 徹	中華人民共和国	日中地震学会出席のため	2. 4. 25 2. 5. 1	"
"	教 授	磯野 克己	アメリカ合衆国	ゲノム解析に関する国際会議出席のため	2. 4. 30 2. 5. 8	"
"	助 手	北川 円	ドイツ連邦共和国	酵母のミトコンドリアのリボソーム蛋白質に関する研究打合せ	2. 4. 30 2. 5. 9	"
医 学 部	"	乾 明夫	"	NPY及びその関連ペプチドに関する国際シンポジウム出席のため	2. 4. 1 2. 4. 6	"
"	教 授	藤田 拓男	スイス	第3回骨軟骨細胞サイトカインワークショップ出席及び内科学に関する研究交換のため	2. 4. 6 2. 4. 15	"

医学部	助教授	山口 直彦	中華人民共和国	精神神経科学に関する研究交換のため	2. 4. 25 2. 4. 30	研 修
"	教 授	斎藤 洋一	"	外科学に関する研究交換のため	2. 4. 28 2. 5. 1	"
"	"	片岡 徹	アメリカ合衆国	ラス蛋白の機能と進化に関するコールドスプリングハーバーシンポジウム出席及びラス蛋白の機能に関する研究交換のため	2. 4. 30 2. 5. 14	"
医学部 附属病院	講 師	丸尾 猛	"	生殖制御に関する国際会議出席及び生殖内分泌に関する研究交換のため	2. 4. 25 2. 5. 5	"
工学部	教 授	岩壺 卓三	"	「第3回物質輸送現象と回転機械の力学に関する国際シンポジウム」出席及び機械の設計と振動解析に関する研究交換	2. 4. 1 2. 4. 7	出 張
"	助教授	森本 政之	ドイツ連邦共和国 オーストリア、ドイツ民主共和国、ハンガリー ポーランド、ブルガリア	コンサートホール並びにオペラハウスの音響設計に関する資料収集のため	2. 4. 3 2. 4. 15	研 修
"	"	安藤 四一	大韓民国	室内音響計画に関する研究交換のため	2. 4. 5 2. 4. 10	"
"	講 師	森山 正和	イラン	イランの都市及び建築に関する資料収集	2. 4. 5 2. 4. 16	"
工学部	教 授	西 勝	台湾	第10回東南アジア地盤工学会議に出席及び斜面安定に関する研究交換のため	2. 4. 15 2. 4. 22	研 修
"	"	多淵 敏樹	"	台湾南部および東部における町並みの調査	2. 4. 17 2. 4. 22	"
"	"	西野 種夫	ギリシア	半導体工学における研究交換のため	2. 4. 18 2. 4. 25	出 張
"	"	芦田 道夫	イタリア ドイツ連邦共和国	結晶学国際スクール出席及び有機薄膜、エラストマー複合材の電気物性に関する研究交換	2. 4. 20 2. 5. 16	"
"	助教授	杉村 延広	アメリカ合衆国	ISO/IGES/PDES 合同会議出席及び CAD/CAM 開発と標準化に関する研究交換	2. 4. 21 2. 4. 30	研 修
"	"	石堂 正弘	中華人民共和国	第13回国際低温技術会議出席及び光ファイバによる音圧センサの開発に関する研究交換	2. 4. 22 2. 4. 29	出 張
"	講 師	西村正太郎	アメリカ合衆国	1990 年 IEEE 回路とシステムに関する国際シンポジウムに出席並びに回路とシステムに関する研究交換	2. 4. 25 2. 5. 9	研 修
"	教 授	中前 勝彦	ドイツ連邦共和国 オランダ アメリカ合衆国	第5回 ROLDUC 高分子会議並びに Scanning Microscopy 1990 会議出席及び高分子材料、バイオマテリアルに関する研究交換のため	2. 4. 25 2. 5. 13	"
"	"	森脇 俊道	アメリカ合衆国	生産工学会及び中部米国生産会議'90 に出席し、生産工学に関する調査研究を行う	2. 4. 28 2. 5. 3	出 張
"	助 手	上場 輝康	アメリカ合衆国 カナダ	北米における建築防災に関する教育・研究の実態調査	2. 4. 28 2. 5. 20	研 修

教 養 部	助教授	大野 隆造	イラン	イランにおける伝統的民家・集落・歴史的建造物の視察・調査のため	2. 4. 5 2. 4. 16	研 修
自然科学 研究科	助 手	池田 裕二	ボルトガル	燃焼を伴う流れの診断に関する国際会議に出席し、論文発表を行う	2. 4. 14 2. 4. 30	出 張
医療技術 短期大学部	教 授	金子 翼	オーストラリア	世界作業療法士連盟第10回国際会議出席及び作業療法に関する資料収集のため	2. 4. 1 2. 4. 8	"

学 事

◇平成2年度科学研究費補助金の交付内定

このたび、文部省から平成2年度科学研究費補助金の交付内定がありました。

補助金の交付が内定した研究課題等は次のとおりです。

なお、末尾に過去3年間の部局別交付状況を掲載しております。

研 究 課 題 名	研 究 代 表 者		交付内定額 (千 円)	備 考 (千 円)
	所属部局 職 名	氏 名		

がん特別研究 (1)

ホウ素熱中性子捕捉療法の適応拡大に関する研究	医 学 部 教 授	三島 豊	14,700	
合 計	1 件		14,700	

がん特別研究 (2)

生体内発癌におけるがん遺伝子相互の機能的連鎖に関する研究	医 学 部 教 授	徳久 剛史	3,100	
新しい血小板由来成長因子受容体の機能および発現調節機構の解析	医 学 部 助 手	松井 利充	2,500	
合 計	2 件		5,600	

重点領域研究 (1)

局在電子状態の制御に関する研究	工 学 部 教 授	西野 種夫	24,100	
アクチナイド化合物の遠赤外スペクトル	理 学 部 助 教 授	難波 孝夫	2,300	
くり返しパルス強磁場によるアクチナイド化合物のμSR及び中性子回折	理 学 部 教 授	本河 光博	1,400	
イノシトール磷脂質代謝を介するトランスメンブランコントロール	医 学 部 教 授	田中千賀子	37,300	
大腸菌ゲノムの一次構造の解析	理 学 部 教 授	磯野 克己	34,000	
自己組織化機能の数理	工 学 部 教 授	北村 新三	15,000	
合 計	6 件		114,100	

重点領域研究 (2)

降下火砕物噴火及び火砕流噴火における弾道堆積物の到達範囲の推定	理学部 助 手	鎌田 桂子	500	
被災体験のデータベース化による避難行動特性把握に関する研究	工学部 教 授	室崎 益輝	1,300	
噴流と後流の組合せによる衝突伝熱の促進	工学部 教 授	片岡 邦夫	1,100	
フッ素及びフッ化水素の気流反応ラインによる導電性重金属フッ素化合物の創製	理学部 教 授	河本 洋二	1,500	
積層構造、高歪構造によるポルフィリンの機能開発と制御	理学部 助 教	瀬恒潤一郎	1,800	
日本列島の最終間氷期以降の海況変化にともなう植性の時空間変化と拡散モデル	教養部 教務職員	松下まり子	1,300	
シナプス小胞と原形質膜との融合過程における低分子量GTP 結合蛋白質の役割	医学部 助 手	菊池 章	1,500	
神経伝達物質の開口放出に関与するプロテインキナーゼCサブタイプの解析	医学部 助 教	谷山絃太郎	1,500	
都市域の自然改変に及ぼす工学的手法の影響	工学部 助 教	沖村 孝	2,100	
石灰洞窟内二次生成物の磁化測定による過去の地球磁場の時間-空間変動の解明	教養部 教 授	後藤 博彌	1,900	
可変幾可構造トラスの分散的姿勢制御に関する研究	大学院 自然科学科 助 手	堤 一義	900	2.4.1 転出
非線形複合システムの自己組織化機能とカオス	工学部 教 授	平井 一正	1,800	
糖鎖を識別するレクチンおよびモノクローン抗体の精密構造認識とその応用	医学部 助 教	山下 克子	2,200	
アンチセンスオリゴヌクレオチドによる血球分化の分岐誘導機構と分化障害の研究	医学部 附属病院 講 師	中尾 實信	1,600	
細胞内情報伝達系による転写制御機構	医学部 講 師	貝淵 弘三	2,000	
ras 遺伝子産物とその標的蛋白質の相互作用の機構	医学部 教 授	片岡 徹	6,400	
細胞内情報伝達系と細胞増殖の制御機構	医学部 教 授	高井 義美	25,000	
合 計		17 件	54,400	

総合研究 (A)

日本美術のイコノロジ的研究 ー外来美術の日本化とその特質ー	文学部 助 教	百橋 明穂	2,000	(継 続)
西洋史における文化衝突諸相の総合的研究	教養部 教 授	鈴木 一州	3,000	(") 3年度 2,000
企業パラダイムの変革と情報システムの変化過程に関する実証研究	経営学部 教 授	武田 隆二	1,500	(")
沿岸域環境の都市的利用と保全に関する研究	工学部 助 教	塩崎 賢明	1,700	(")
犯罪の捜査・立証における科学の利用とその限界	法学部 教 授	三井 誠	4,000	3年度 2,500 4年度 2,500
金融市場の巨大化統合化と各国金融制度・金融政策に関する理論的計量的国際比較研究	経済学部 教 授	三木谷良一	3,800	3年度 2,500
地球のリズムと構造構造	理学部 教 授	伊東 敬祐	2,400	3年度 2,000
次世代超精密工作機械のための変形シミュレーションと制御	工学部 教 授	森脇 俊道	7,900	3年度 3,000
ライフスタイルの向上を目指す学校健康教育プログラムの開発	教育学部 助 教	川畑 徹朗	1,000	3年度 2,000 4年度 2,000
合 計		9 件	27,300	

一般研究 (A)

司法行政と司法行動に関する法社会学的研究	法学部 教 授	宮澤 節生	2,000	(継 続)
高エネルギー天体ガンマー線の精密観測の基礎研究	理学部 教 授	須田 英博	6,000	(") 3年度 800
副甲状腺ホルモンの酵素的分解とその調節	医学部 教 授	藤田 拓男	2,000	(")
モノクローナル抗体を用いた肺癌早期診断と治療成績向上のための臨床的、実験的研究	医学部 教 授	斎藤 洋一	2,400	(") 3年度 1,500
琉球弧-東支那海の電磁気学的及び熱的構造に関する研究	理学部 助 教	伊勢崎修弘	31,000	3年度 700
合 計		5 件	43,400	

一般研究 (B)

環太平洋地域の国際協調と経済発展に関する理論的実証的研究	経済経営 研究 所 授	西向 嘉昭	800	(継 続)
新規紫外光受容体 P290 の抽出単離による検証	理学部 教 授	橋本 徹	1,300	(")
半導体超微粒子表面層の分光学的研究	工学部 教 授	山本 恵一	1,400	(") 3年度 300
超精密超微小切削に関する研究	工学部 教 授	森脇 俊道	2,000	(")
含水率を評価尺度とする建築物の防湿設計法に関する研究	工学部 教 授	松本 衛	2,300	(")
Riプラスミドによる形質転換を利用した病害感受性・抵抗性遺伝子の解析に関する研究	農学部 助 教	真山 滋志	700	(")
老化過程における酸化的ストレスの公衆衛生学的意義	医学部 教 授	住野 公昭	800	(")

視床下部の発育・成熟における細胞成長因子および原癌遺伝子の果たす役割について	医学部 教授	千原 和夫	2,100	(継 続)
臓器移植における実験的研究	医学部 附属病 院 講	黒田 嘉和	2,000	(") 3 年度 1,700
女性生殖現象におけるカルシウム代謝の意義に関する基礎 的臨床的研究	医学部 教授	望月 真人	200	(")
腎症候性出血熱ウイルスの分子生物学的診断法の確立と非 感染動物作成への応用	医学部 教授	村上 宏	1,000	(") 3 年度 1,100
遷移金属合金複合薄膜における固体反応の、高分解能分析 電子顕微鏡による研究	工学部 助 教授	吉田虔太郎	800	(")
低分子量 GTP 結合蛋白質を介する新しい細胞内情報伝達 機構	医学部 教授	高井 義美	1,900	(")
中期更新世以降における中国山地東部の山地・山麓の気候 変動にもとづく地形編年	教養部 教授	田中 眞吾	800	(")
人間の脳血管回路網の解析と 4 次元画像化による血流状態 予測システムに関する研究	工学部 教授	高森 年	2,100	(") 3 年度 300
外国人留学生に対する日本語・日本事情の教育システムに 関する研究	教養部 教授	森 晴秀	2,200	3 年度 1,000
総合有機文法理論の展開	文学部 助 教授	柴谷 方良	2,000	3 年度 1,000
マイクロボディ機能転換の動的解析	理学部 助 教授	西村 幹夫	4,600	3 年度 1,700 2.4.1 転出
単食性ハバチの同所性寄主転換と生態種形成機構に関する 遺伝・化学生態的研究	農学部 助 教授	内藤 親彦	4,500	3 年度 800 4 年度 800
Acoustic Emission 計測による透過破壊位置の評定と破壊 防止法の研究	農学部 教授	尾崎 勲司	6,100	3 年度 400 4 年度 400
DNA 多型を利用した但馬牛繁殖雌牛集団の遺伝・育種学 的分析	農学部 教授	後藤 信男	3,400	3 年度 1,400 4 年度 900
神経情報伝達における蛋白質磷酸化酵素と脱磷酸化酵素の 役割	医学部 教授	田中千賀子	6,300	3 年度 700
センス及びアンチセンス cDNA 発現ライブラリーを用いた 発癌抑制遺伝子の同定	医学部 教授	片岡 徹	5,000	3 年度 1,900
血管内皮由来弛緩因子の産生・放出の分子機構の解明とそ の病態的意義	医学部 助 教授	横山 光宏	4,300	3 年度 2,500
ハイパーメディア・テストシステムの開発研究	教育学部 助 教授	永岡 慶三	3,000	3 年度 1,000
いもち病菌の類縁関係に関する研究	農学部 教授	加藤 肇	5,700	3 年度 1,300
合 計		26 件	67,300	

一般研究 (C)

エイズをめぐる法律問題—アメリカの議会・行政・裁判所 の対応	法学部 教授	丸山 英二	700	(継 続)
日本経済の国際化と産業構造の変化	経済学部 教授	足立 英之	700	(")
金融機関の相互進出の各国金融市場に及ぼす影響について の実際の国際比較研究	経済経営 研究所 教授	石垣 健一	600	(")
近代アメリカ企業会計の形成・確立過程をめぐる史的計量 分析に関する研究	経営学部 助 教授	中野 常男	600	(") 3 年度 300
湖沼堆積物の分析に基づいた地形変化地における土砂移動 の長期的変化に関する研究	大学院 自然科学 科 手 助 教授	柏谷 健二	600	(")
種子タンパク質によるシラネアオイ科の免疫分類学的研究	理学部 教授	田村 道夫	400	(")
中央構造線に沿うプル・アパート型堆積分の研究	教養部 助 教授	宮田 隆夫	200	(")
異形端末を有する金属繊維を用いた耐熱機能性複合材料の 開発	工学部 教授	中川 隆夫	600	(") 3 年度 600
動的スペックル照射による 2 次元表面粗さのインプロセス 計測に関する研究	工学部 助 教授	吉村 武晃	400	(")
インテリジェント生産時点情報管理 (POP) に関する研究	工学部 教授	藤井 進	600	(")
一次元プロセッサレイ型データ・ベースマシンの研究	工学部 教授	金田悠紀夫	800	(")
建築物の最適耐震構造計画への人工知能の応用に関する研 究	工学部 手 助	谷 明勲	400	(")
構造実験情報の最大化と知能ベース化	工学部 助 教授	中島 正愛	200	(")
鉄骨鉄筋コンクリート耐震壁に関する研究	工学部 教授	山田 稔	500	(") 3 年度 300
代替フロン類の輸送性質の測定	工学部 助 教授	田中 嘉之	600	(")
コムギ・エギロブス属における細胞質オルガネラの機能解 析	農学部 助 教授	中村 千春	700	(") 3 年度 700
メロン・セリンプロテアーゼの遺伝子構造と果実特異的発 現機構の解明	農学部 手 助	山形 裕士	300	(")
都市化地域の排水管理システムに関する研究	農学部 助 教授	畑 武志	500	(")
食肉の熟成による呈味向上に寄与するペプチド類の検索	農学部 助 教授	岡山 高秀	600	(")
ブドウ球菌の皮膚定着性とその定着因子に関する研究	農学部 助 教授	清水 晃	200	(")
ヒトアポ蛋白 AI 遺伝子組込みによる実験的高 HDL 血症 マウスの作成	医学部 手 助	芳野 原	400	(")
未熟児治療への細胞増殖因子の応用に関する研究	医学部 師 講	松尾 雅文	900	(")
老化促進モデルマウス (SAM) の痴呆行動に及ぼす神経 ペプチド (NPY) の分子生物学的研究	医学部 手 助	乾 明夫	300	(")
髄液循環吸収障害における脳実質細胞損傷の発生機序に関 する基礎的臨床的研究	医学部 助 教授	玉木 紀彦	800	(") 3 年度 500

実験中枢神経系奇形モデルにおける発生病態の解析と神経移植による機能回復の検討	医学部 附属病院 講師	大井 静雄	700	(継 続) 3年度 500
未分化急性白血病における骨髄ペルオキシダーゼ遺伝子発現の検索	医学部 講師	巽 英二	500	(")
ID情報に基づく暗号システムの研究	工学部 助教	田中 初一	300	(")
19世紀フランス体育書における運動記述の理論的特性に関する学説的研究	教育学部 教授	清水 重勇	500	(")
浮力の影響を強く受ける炉心内の流れ場に関する研究	工学部 助教	中島 健	300	(")
中国山地の斜面堆積物に挟まれた中・後期更新世の火山灰の対比と編年に関する研究	教養部 助教	野村亮太郎	400	(")
地域性を生かした「災害と防災」の教材化に関する実践的研究	教育学部 助教	土井 捷三	400	(") 3年度 300
児童の自然事象に対する直感的認識に関する調査研究	教育学部 教授	恩藤 知典	900	(")
パルメニデスに於ける「存在」概念の研究	文学部 教授	眞方 忠道	1,600	3年度 400 4年度 500
ピエール・ガッサンディを中心とした、近代科学成立の哲学的背景と意義に関する研究	教養部 助教	宗像 恵	1,000	
米国の中東政策の国内的要因—ユダヤ系米国人の意識と活動を中心に—	法学部 教授	木村 修三	600	
日本の流通段階における価格形成メカニズムの理論的・実証的研究	経営学部 助教	丸山 雅祥	1,000	
瀬戸内海地域における商品輸送・廻船の実態把握と生産の地帯構造に関する研究	経済学部 教授	神木 哲男	1,000	3年度 600
原価企画に関する総合的研究：実態調査と理論フレームワークの構築と検証	経営学部 教授	小林 哲夫	1,500	3年度 700
株式安定化が会計情報の公開に及ぼす影響に関する実証的研究	経営学部 助教	櫻井 久勝	800	
半群における Homology 代数	教養部 教授	高橋 典大	1,100	
完全非線形楕円型偏微分方程式の境界値問題の研究	理学部 教授	相沢 貞一	1,300	
確率制御とその応用	理学部 教授	西尾眞喜子	2,000	
雑音場による分光学的緩和過程のダイナミックス	教養部 助教	福田 行男	2,000	3年度 500
急冷および冷間加工パラジウム—銀合金への水素溶解の熱力学的研究	理学部 教授	岸本 昇三	2,100	
コネクティンの構造と機能に関する研究	理学部 助教	新 勝光	1,300	3年度 300
キク科ブラキスコーム属の染色体進化と分子進化	教養部 助教	渡辺 邦秋	1,100	3年度 300
昆虫卵を用いた受精過程および発生開始機構の研究	理学部 助教	大石 陸生	600	3年度 500
日本海沿岸地域の第三紀酸性火成岩類の年代と同位体・微量元素組成	教養部 講師	寺門 靖高	1,300	3年度 400
脳のバイオメカニズムのモデリング	工学部 助教	多田 幸生	1,500	

自律分散型生産システムに適合する加工用機械構造の設計に関する研究	工学部 助教	杉村 延広	1,400	3年度 600
インパルス放電進展過程の画像処理による定量化測光	工学部 教授	荒井 健次	1,600	3年度 500
量子トンネル効果を利用した超高速受光素子に関する研究	工学部 教授	三好 旦六	2,000	
複数のプロセッサを用いたデジタル制御器の構成と同期制御に関する研究	工学部 教授	羽根田博正	1,600	3年度 400 4年度 300
住宅の火災安全性の評価法と設計法の開発に関する研究	工学部 教授	室崎 益輝	1,200	
導電機能性重金属フッ化物のガラス及び結晶の創製・機能・構造	理学部 教授	河本 洋二	1,900	
担持貴金属触媒における担体表面と貴金属の結合状態に関する研究	工学部 教授	正井 満夫	2,200	
高圧下の液体の定圧比熱容量に関する研究	工学部 助教	久保田博信	1,400	3年度 1,000
イネ矮性遺伝子の生理生化学的レベルにおける発現様式	農学部 助教	上島 脩志	1,500	3年度 200 4年度 400
脂質過酸化物の消化管内での解毒に関する研究	農学部 助教	金沢 和樹	1,300	3年度 600 4年度 600
微生物活性を利用した炭酸ガスの有機化合物への固定と有用物質の発酵生産	農学部 助教	青木 健次	1,600	3年度 600
ハーブに含まれる脱変異原物質の同定とその作用機構の解明	農学部 教授	名武 昌人	1,500	
クラリネットの材質と音質に関する研究	教育学部 助教	青木 務	1,200	3年度 500 4年度 300
自脱コンバインの脱穀部における脱穀過程の解析に関する研究	農学部 助教	川村 恒夫	1,900	3年度 300
ニワトリ・オルニチントランスカルバミラーゼ遺伝子の遺伝制御	農学部 助教	辻 荘一	1,700	3年度 200
アルコール性臓器障害の画像解析	医学部 助教	藤原 敏	1,300	3年度 400
c-fos 遺伝子発現の慢性関節リウマチの関節破壊、リウマチ因子産生への病因的関与	医学部 助手	塩澤 俊一	2,100	
血管平滑筋における ras p21 類似低分子量 GTP 結合蛋白質の役割とその病態	医学部 助手	川原 康洋	2,100	
微小変化型ネフローゼ症候群における糸球体基底膜透過性亢進因子の解析	医学部 附属病院 講師	吉川 徳茂	1,000	3年度 600 4年度 500
実験的ビリルビン脳症における細胞膜情報伝達機構に関する研究	医学部 教授	中村 肇	1,500	3年度 700
紫外線による表皮細胞損傷と修復—(6-4) 光生成物の生成と修復—	医学部 助教	市橋 正光	800	3年度 1,100
高分子型造影剤を用いたリンパ節転移の早期診断法の開発	医学部 附属病院 助教	佐古 正雄	700	3年度 900 4年度 800
卵巣、胎盤の機能発現における細胞成長因子と癌遺伝子の役割：その分子内分泌学的考察	医学部 附属病院 講師	丸尾 猛	1,600	3年度 600 4年度 500
巨核球系株化細胞および巨核芽球性白血病の遺伝子解析とその診断的応用に関する研究	医学部 教授	山口 延男	900	3年度 1,100
西欧中世の理論算術の展開—ヨルダヌス『算術』の写本研究	教養部 講師	三浦 伸夫	1,000	

ウラシルー DNA グリコシラーゼ欠損 CHO 株の分離・解析と遺伝子クローニング	医学部 助手	山本 洋子	1,600	2.1.1 転出
蛋白質のアミノ末端からの高次構造形成の解析	理学部 教授	橋 秀樹	900	3 年度 1,300
一般化された注入のある凝集系における定常的べき分布	理学部 教授	高安 秀樹	1,800	3 年度 800
注視されない周囲環境情報の記述とその心理的影響に関する研究	教養部 教授	大野 隆造	1,300	3 年度 500
化学反応カオスによる CSTR の不安定性	工学部 教授	片岡 邦夫	1,200	3 年度 500
昆虫における中腸ペプチドの生理作用と細胞増殖・分化に果たす役割	農学部 助手	竹田真木生	2,000	
転動球による車体の支持及び走行に関する基礎研究	農学部 教授	堀尾 尚志	1,600	3 年度 500
cAMP による細胞内 Ca 濃度調節機構: A キナーゼ変異体を用いた細胞工学的研究	医学部 講師	久野 高義	1,700	
β -カルボリン系化合物のアルコール離脱症状への関与	医学部 助手	足立 順子	1,300	3 年度 300
肝静脈分離、活性炭吸着を併用した新しい肝癌動注化学療法法の検討	医学部 附属病院 助手	具 英成	1,200	3 年度 400
抗イディオタイプ抗体を用いた脳腫瘍に対するワクチン療法及び免疫診断に関する研究	医学部 教授	松本 悟	700	3 年度 500 4 年度 500
臨床用核磁気共鳴スペクトロスコピー (MRS) 装置を用いた小児脳代謝の評価	医学部 附属病院 助手	増村 道雄	1,300	3 年度 900
合 計	86 件		92,000	

奨励研究 (A)

共同相続財産の管理・分割に関する判例法の形成とその民法理論へのインパクト	法学部 教授	山田 誠一	900	
アメリカ民主制の変容と政治学の科学化—シカゴ学派を中心として	法学部 教授	飯田 文雄	900	
金融自由化下の民間・公的金融機関の経営と金融政策の有効性	経済学部 教授	瀧川 好夫	1,000	
税制改革の計量的分析 —日本経済と家計に与える影響の分析—	経済学部 助手	玉岡 雅之	700	
複素領域の微分方程式の大域的解析	理学部 助手	高山 信毅	800	
傾向のある対立仮説に関する解析法の標準化	教養部 講師	稲葉 太一	900	
有機スズ化合物を利用した立体選択的な有機合成単位反応の開発	教養部 講師	三宅 秀芳	700	
非環状ポリチオエーテル誘導体の合成と軟らかい金属の選択的溶媒抽出分離	大学院 自然科学科 助手	茶山 健二	900	
油水界面イオン移動に基づく電流検出型イオンセンサーの開発	教養部 助手	大塚 利行	900	
紫外光照射による植物の膜タンパク質の組成変化と遺伝子情報発現の制御	理学部 助手	上村 松生	900	

キンボウゲ科における分子系統学的研究	理学部 助手	小菅 桂子	800	
超精密超音波振動切削加工に関する研究	工学部 助手	社本 英二	900	
シミュレーションによる超微小切削機構の解明に関する研究	工学部 教務職員	真鍋 圭司	900	
冗長マニピュレータの制御を目的とした人間の上肢姿勢決定規範に関する研究	工学部 助手	田所 諭	900	
原子層ドーブを利用した化合物半導体ヘテロ接合バンド不連続制御に関する研究	工学部 講師	小川 真人	900	
分散型離散事象システムにおけるコンカレント性を考慮したスーパーバイザ制御	工学部 助手	潮 俊光	700	2.3.31 辞職
青果物に由来する生体調節機能物質の検索とその構造解析	大学院 自然科学科 助手	水野 雅史	700	
種々のニューロンにおける長期増強とプロテインキナーゼC各サブタイプの関係	医学部 助手	斎藤 尚亮	900	
低分子量 GTP 結合蛋白質の活性制御機構	医学部 助手	菊池 章	1,100	
各種プロテインキナーゼと ras p 21 による遺伝子発現の制御機構	医学部 講師	貝淵 弘三	1,000	
パルスフィールドゲル電気泳動法によるラット白血病細胞 abl 遺伝子活性化機構の解析	医学部 助手	堀尾 光三	700	
センダイウイルスの培養細胞継代による弱毒化の機構	医学部 助手	伊藤 正恵	900	
間葉系細胞の増殖及び分化における新しい血小板由来成長因子受容体の機能解析	医学部 助手	松井 利充	900	
胎児・新生児肺の分化・成熟の制御機構に関する研究	医学部 附属病院 助手	佐野 公彦	900	
妊娠高血圧症発症の機序における血管内皮細胞の内分泌学的意義に関する研究	医学部 附属病院 助手	山崎 峰夫	800	
嗅覚、聴覚、平衡覚神経系におけるアミノ酸神経伝達物質の免疫電顕的研究	医学部 助手	雲井 一夫	900	
筋電図を用いたストレッチング効果の検討	医療技術 短期大学 助手	市橋 則明	900	
ヘリコン波領域の高周波プラズマ生成における磁場依存性の研究	工学部 助手	竹堅 裕正	900	
メッセージ駆動モデルに基づく並列推論システムの実現	工学部 助手	松田 秀雄	900	
防衛体力としての体温調節機能に及ぼす運動の効果	教育学部 助手	近藤 徳彦	900	
紫外線による DNA 損傷を特異的に認識して結合するヒト細胞因子の精製	医学部 助手	片岡 裕子	900	
トランスピュータに適した気液二相流の過渡解析アルゴリズムの開発	工学部 助手	富山 明男	900	
中国語三人称代名詞の指示と照応の機能に関する談話文法的・語用論的研究	教養部 教授	木村 英樹	1,100	
核移植を用いたホヤ胚における発生運命決定のメカニズムの解析	教養部 助手	西田 宏記	900	

宇宙ステーション“フリーダム”における電磁環境シミュレーション	工学部 助教	蔡 東生	1,000	
回転円板やクラック軸系で生ずる異常振動の解明と予防方法について	教育学部 講師	矢野 澄雄	800	
マルチメディア通信網におけるマルチバーチャルサーキット交換方式の検討	教養部 助教	大月 一弘	700	
サイクロメーターを用いた原位置サクシジョンの長期測定	工学部 教務職員	加藤 正司	900	
ニューラルネットワークを適用したファジィ土地利用モデル	工学部 助教	川井 隆司	800	
外国人集住地区の住宅事情・住環境と居住実態に関する研究	工学部 教務職員	平山 洋介	800	
交流電気測定法を用いたセラミックス粒界相の同定	理学部 助教	菅野 了次	900	
不均一系触媒による α , β 不飽和ケトンの合成と反応機構に関する研究	大学院 自然科学科 助教	馬場 俊秀	900	2.4.1 転出
酵母Cキナーゼ分子種の特性とその遺伝学的解析に関する研究	医学部 助教	荻田 浩司	900	
遺伝子クローニングによる強免疫原性ヒト悪性黒色腫抗原の同定ならびに組織分布検索	医学部 助教	林部 一人	900	
動物実験モデルにおける先天性水頭症の発生病態における癌遺伝子の解析	医学部 助教	山田 洋司	800	
絨毛細胞での新たな情報伝達物質としてのアデノシンの作用機構の遺伝子工学的解析	医学部 助教	大谷 徹郎	900	
Molecular cloning による自己抗体遺伝子の解析	医学部 助教	小泉 民雄	900	
興奮性アミノ酸の脳内微量慢性投与方法によるアルツハイマー病モデル動物の開発	医学部 附属病院 助教	金田 弘幸	800	
脳血管におけるグルコースおよび諸物質の取り込み・輸送機構の解明	医学部 助教	西崎 知之	800	
合 計		49 件	42,700	

試験研究 (B) (1)

乱れた密度成層流を対象とした流速・密度計測法の開発と乱流構造の解析	工学部 助教	寛 源亮	2,600	(継 続)
公衆衛生情報システムの実用化	医学部 助教	住野 公昭	1,000	(")
ヒト黒色腫のメラニン代謝活性親和性B-10化合物による選択的熱中性子捕捉療法	医学部 助教	三島 豊	18,600	(")
実験用日本白色種ウサギコロニーの遺伝的類縁関係の解明と標準系統の作出	農学部 助教	後藤 信男	900	(")
高負圧型テンシオメーターによる地盤サクシジョンの長期測定と安定予測	工学部 助教	軽部 大蔵	3,200	3年度 1,200 4年度 1,400
ハイブリッド構造実験の汎用化	工学部 助教	中島 正愛	7,000	3年度 800
合 計		6 件	33,300	

試験研究 (B) (2)

「多国籍企業データベース」のための各種統計書の入力システムの開発研究	経済経営 研究所 教授	定道 宏	1,600	(継 続)
『世界経済総合データベース』の国際的利用促進のためのシステムの拡充及び汎用化	経済経営 研究所 教授	片野 彦二	4,800	(") 3年度 2,200
難削および複合材料の超精密切削加工に関する研究	工学部 助教	杉村 延広	4,400	(")
rasp21 類似GTP結合蛋白質のcDNAと抗体の有効利用、特に病態診断への応用	医学部 助教	高井 義美	4,300	(")
Anti-slit ventricular catheterの開発と臨床応用	医学部 附属病院 講師	大井 静雄	100	(")
DNAシーケンサーによる塩基配列決定の高速化	理学部 助教	磯野 克己	7,500	(")
超精密インテリジェント工作機械の試作開発	工学部 助教	森脇 俊道	7,600	3年度 2,600
高光散乱能を有する単分散異形高分子超微粒子材料の創製	工学部 助教	大久保政芳	4,400	3年度 900 4年度 600
プロテインキナーゼCの特異的分子種発現細胞の構築・応用と選択的制御剤の開発研究	医学部 講師	吉川 潮	4,400	3年度 2,200
合 計		9 件	39,100	

奨励研究 (特別研究員)

公家政権の構造分析を中心とする中世国家諸段階の研究	神戸大学 文学部 研究科	市澤 哲	900	(継 続)
朝鮮朱子学に対する実証的研究	神戸大学 文学部 研究科	辺 英浩	800	(")
キーツ イェイツ J. Keat S や W. B. Yeats などにおける時間意識と詩的想像力	神戸大学 文学部 研究科	松家 理恵	900	(") 2.5.1 付 教養部 講師
日本近代家族法史にみる西欧法の継受と旧慣の相克	神戸大学 法学部	村上 一博	900	(")
マグマの分離・上昇と部分溶融層の巨視的ふるまい	神戸大学 大学院 自然科学科 研究科	中野 司	900	(")
酵母の全ゲノムDNAのクローンバンク作成とその利用	神戸大学 大学院 自然科学科 研究科	吉川 彰一	900	(")
葉緑体チラコイド膜に存在するNADP光還元系の分子構築機構に関する研究	神戸大学 理学部	先浜 直子	900	(")
律令国家の土地支配の構造	神戸大学 文学部 研究科	坂江 渉	900	3年度 900
現実的な弦理論の可能性の探究	神戸大学 理学部	豊田 規人	900	3年度 900

可視・近赤外反射スペクトルによる国体惑星衛星の構成鉱物の推定	神戸大学大学院自然科学研究科	東 博美	1,000	3年度	900
矮性エンドウの矮性発現の機構	神戸大学大学院自然科学研究科	野口 尚	1,200	3年度	900
遺伝子発現の遠隔的制御機構	神戸大学大学院自然科学研究科	笠井 宏朗	900	3年度	900
合 計	12 件		11,100		

※過去3年間の科学研究費補助金の部局別交付状況（国際学術研究を除く。）

区 分	昭 和 63 年 度						平 成 元 年 度						平 成 2 年 度					
	新 規		継 続		計		新 規		継 続		計		新 規		継 続		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
文 学 部	2	4,500	4	5,850	6	10,350	7	13,100	1	500	8	13,600	3	4,500	4	4,600	7	9,100
文化科学研究科																		
教 育 学 部	4	4,900	3	2,400	7	7,300	2	2,300	4	2,500	6	4,800	5	6,900	3	1,800	8	8,700
法 学 部	1	1,000	3	4,200	4	5,200	9	13,100	1	1,000	10	14,100	4	6,400	3	3,600	7	10,000
経 済 学 部	2	1,400	2	5,500	4	6,900	2	2,100	1	600	3	2,700	4	6,500	1	700	5	7,200
経 営 学 部	3	3,000	2	1,000	5	4,000	5	5,300	1	300	6	5,600	3	3,300	2	2,100	5	5,400
理 学 部	20	72,500	8	10,500	28	83,000	20	88,800	9	30,500	29	119,300	22	95,700	5	16,100	27	111,800
医 学 部	42	205,500	31	32,600	73	238,100	49	183,600	27	54,900	76	238,500	47	152,600	18	40,000	65	192,600
工 学 部	25	57,900	19	27,100	44	85,000	32	63,700	12	23,900	44	87,600	31	99,100	18	22,000	49	121,100
農 学 部	9	18,400	9	8,700	18	27,100	9	10,000	6	6,000	15	16,000	12	32,800	7	3,900	19	36,700
教 養 部	12	18,000	1	2,100	13	20,100	9	18,500	3	2,800	12	21,300	16	19,400	4	4,400	20	23,800
自 然 科 学 研 究 科	4	3,150			4	3,150	12	13,100	2	1,500	14	14,600	7	6,500	3	2,400	10	8,900
経 済 経 営 研 究 所	4	16,100	2	5,100	6	21,200	4	14,200	4	11,400	8	25,600			4	7,800	4	7,800
医療技術短期大学部			1	400	1	400							1	900			1	900
総合情報処理センター	1	1,000			1	1,000							1	1,000			1	1,000
計	129	407,350	85	105,450	214	512,800	160	427,800	71	135,900	231	563,700	156	435,600	72	109,400	228	545,000

◇平成2年度科学研究費補助金（国際学術研究）の交付内定

このたび、文部省から平成2年度科学研究費補助金（国際学術研究）の交付内定の通知がありました。補助金の交付が内定した研究課題等は、次のとおりです。

研究種類	研究課題名	研究代表者		交付内定額 (千円)	備考 (千円)
		所属部局 職 名	氏 名		
学 術 調 査	主要フィリピン言語の文法構造に関する調査研究	文 学 部 教 授	柴谷 方良	5,000	
〃	アメリカの低所得層向け住宅供給における公共・民間共同事業と市民参加	工 学 部 教 授	早川 和男	3,400	
共 同 研 究	「世界経済総合データベース」の実用化に関する国際共同研究	経済経営研究科 教授	片野 彦二	3,300	3年度 3,300
大 学 間 協 力 研 究	秦嶺造山帯の地質構造と古地磁気学的形成史	理 学 部 教 授	安川 克己	2,000	3年度 2,000 4年度 2,000
〃	散乱・吸収過程を用いる計測技術の逆問題	工 学 部 教 授	北村 新三	1,900	
合 計		5 件		15,600	

掲 示 板

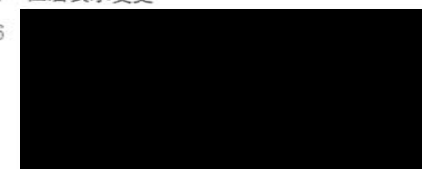
◇職員の住所変更等

・新任者住所



・住所・住居表示変更

p.76



日 誌

(平成2年4月)

- 4月9日(月) 平成2年度医療技術短期大学部入学式(於 医療技術短期大学部体育館)
- 10日(火) 平成2年度入学式(於 兵庫県立文化体育館)
- 12日(木) 部局長会議
- 19日(木) 評議会, 名誉教授称号授与式

そのことは当時の卒業生の回顧談からもうかがうことができる。たとえば「学資は衣服の外全部官給といってよい、……毎月三円五十銭位給された」（明治13年卒平井廣次）とあり、また卒業後の俸給についても「当時は在学中の成績によって俸給に差等を付した。……（私は）……結局推挙生というので、十五円で飾東郡飾磨町付近の五小学校を連合した鹿間小学校四等訓導を拝した。当時十五円といふと、播磨全国で最高給であった。」（明治19年卒倉賀野胤正）とある。